ネイル新聞

平和通小学校
4年
佐藤里緒

世界最古のネイルは?!

古代エジプト時代

ネイルの歴史は紀元前3千年以前の古代エジプト時代にさかのぼります。この時代のミイラの爪先を見ると、今でいうネイルのような装飾がしてあるのです。これを分析すると、この装飾は「ヘンナ」という植物の花の汁を使って塗ぬているものだそう。階級が高くなる程真紅に近い濃い色をつけていたとか。古代エジプトでは、爪先の色が階級を示す一つの道具になっていたのです。

ギリシャ・ローマ時代

マニキュア・ペディキュアという言葉の起源が誕生したのは、紀元前8世紀のギリシャ・ローマ時代のことです。当時流行したのは、ネイルカラーではなく爪の手入れでした。健康的な美しさのため自爪をきれいに見せるお手入れに注目されたようです。

ラテン語	読み	意味
manus	マヌス	手
pedis	ペディス	足
cure	キュア	手入れ

ネイルの4つのSTEP

STEP1
- 爪の形をととのえよう
- ツメの長さを切る
- ツメの角を切る
- 形を整える

STEP2
- 甘皮のケアをしよう
- お湯でふやかす
- 甘皮を押し上げる
- コックリトームで取る
- 保湿

STEP3
- 爪の表面をなめらかに
- 爪の表面をようけずる
- 爪の側面をけずる
- コットンで取る

STEP4
- マニキュアをキレイに塗ろう
- ベースコートを塗る
- 爪のふちにぬる
- 爪の中央に塗る
- 爪のサイドをぬる
- マニキュア全体を塗る
- トップコートをぬる

完成

最後に

ネイルをキレイに落とす
- 除光液をコットンに含ませる
- コットンでマニキュアをふき取る
- 綿棒でキワのマニキュアを取る

健康的な爪を育てよう

爪を育てるためには、タンパク質とビタミンミネラルが必要。お魚やお肉大豆食品をいっぱい食べよう。爪の甘皮と表面をきちんとケアして、保温することも大切です。

ネイルの注意点!!

学校に行くネイルをする時にネイルをしていくのはNG
新たに塗ったネイルは使用禁止
爪の表面に異常が見られたらすぐにやめてなるべくネイルを楽しもう
ネイルはNG
ルールを守って

日本のネイルの歴史

日本のネイルの歴史は世界よりやや浅く、爪を染める文化は平安時代から生まれました。

ネイル時代到来!!平安時代

平安時代から江戸時代にかけて、爪紅や紅花を使った染色が施されました。

爪紅

ホウセンカ

ホウセンカとホオズキの葉を揉んだもので爪を染るもの。

ホオズキ

紅花

額や唇の化粧にも使用され、爪には専用の針を使用して塗られていました。

ベニバナ

昔の日本の化粧で使われた色は赤、白、黒の3色ですが、なかでも赤は生命や血を連想させる特別な意味合いがあります。古代エジプト時代にも見られたように赤色は世界共通で意味を持つことが多く、各地のネイルの起源となりました。

マニキュア

現在のようなマニキュアは20世紀前半のアメリカで誕生しましたが、その原料になったのはなんと、自動車の塗装剤でした。自動車生産が盛んだったアメリカでは、速乾性の高い自動車用塗料がファッション業界で注目され、爪を彩るマニキュアに進化したのです。

私はおしゃれが大好きで、特にお洋服やネイルにきょう味があるので調べました。ずっと昔からネイルがあったことにおどろき、今は、簡単に塗れるネイルが、植物や花から作られている事にもおどろきました。

爪を大切にして、これからもネイルのおしゃれを楽しみたいと思います。

感想

ネイルアレンジに挑戦!!

- ラメ ＊乾く前にネイル用ラメをはる。
- フレンチ ＊爪の先だけ白くしている。
- シール ＊ネイルシールでアレンジ
- マーブル ＊2色を混ぜた。
- お花 ＊綿棒でお花柄アレンジ
- ボーダー ＊2色のネイルでしましま柄
- ドット ＊綿棒で自由に丸をえがく
- セパレート ＊混ざらないように2色使う